会議録

1 会議の名称

第2回 犬山市かわまちづくり推進協議会

2 開催日時

令和7年1月30日（木）午前10時00分から正午まで

3 開催場所

市役所2階205会議室

4 出席した者の氏名

- (1) 構 成 員 岡田和明、阿部充、梅村治男、板津雅史、奥村好樹、松田昇平、日比野清正、長瀬由武、安藤英明、丸山和成（順不同・敬称略）
- (2) オブザーバー 井川陽二
- (3) 事 務 局 新原経済環境部長、小池観光課長、桃原観光課長補佐、小澤観光課主査補
- (4) 関 係 課 高橋秀成整備課長、又部和也整備課主査

5 議題

- (1) 開会
- (2) 議事
 - 報告1 犬山市における取組状況について
 - ・内田地区 河畔 de カタリーヴァの取組み
 - ・栗栖地区の取組み
 - 報告2 犬山市かわまちづくりに関するアンケート調査結果について
 - 報告3 木曾川河畔整備地質調査結果（速報版）について
 - 協議1 犬山市かわまちづくり計画について
- (3) その他
- (4) 閉会

6 傍聴人

1名

【配付資料】

- 資料1 委員名簿 (R6.1.30時点)
- 資料2 犬山市かわまちづくり計画 策定スケジュール
- 資料3 内田地区 河畔 de カタリーヴァの取組み
- 資料4 栗栖地区の取組み
- 資料5 犬山市かわまちづくりに関するアンケート調査結果
- 資料6 木曾川河畔整備地質調査業務委託 調査結果 (速報版)
- 資料7 第1回犬山市かわまちづくり推進協議会 委員意見対応表
- 資料8 犬山市かわまちづくり計画案 (R7.1.30時点)
- 資料9 河川空間のオープン化について

7 内容

事務局

改めまして、おはようございます。

本日はお忙しい中、御出席いただき、誠にありがとうございます。

ただいまより第2回犬山市かわまちづくり推進協議会を始めさせていただきます。

私は犬山市観光課課長、小池と申します。本日の進行をさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

第1回を前回11月に開催させていただきました。本日2回目となります。スケジュールは、また後ほど共有させていただきますので、よろしくお願いいたします。

この会議、来年度ですが、犬山市かわまちづくり計画というのを作成し、国への登録を目指す予定でおります。それに向けて様々なお立場、様々な方からの御意見、御助言、御提言をいただきながら、それらを反映してよりすばらしい計画づくりを進めていくということを目的としておりますので、よろしくお願いいたします。

それでは、事務局の紹介をさせていただきます。

委員の皆様後方中央、経済環境部長、新原でございます。

新原経済環境部長

新原です。よろしくお願いいたします。

事務局

続いて、担当、小澤でございます。

小澤観光課主査補

小澤です。よろしくお願いいたします。

事務局

共同で事務局をやらせていただいております整備課課長の高橋でございます。

高橋整備課長

高橋です。よろしくお願いいたします。

事務局

整備課担当主査の又部でございます。

又部整備課主査

又部です。お願いします。

事務局

あと、本日、このかわまちづくり計画のコンサルタントで国際開発コンサルタント2名、片岡と小村、それから地質調査で川崎地質の近藤が本日参加させていただきます。後ほど説明等でまた御案内させていただくことになり

ます。どうぞよろしく願いいたします。

あと、本日会議のオブザーバーとして、木曾川上流河川事務所総括保全対策官、井川様にも御参画いただいております。どうぞよろしく願いいたします。

本日、繰り返しですが、我が市のかわまちづくりに欠かせない皆様に委員として御出席いただいております。お手元の配席表及び委員名簿を御参照いただけたらと思います。

それで、本日、総数10名中9名の委員の出席をいただいております。まず過半数の出席がございますので会議は成立していることを御報告いたします。

そして、本日、お手元に資料1. 委員名簿を置かせていただきました。4番、名古屋鉄道株式会社の尾関委員ですが、所用で欠席とお聞きしております。代理として同社から板津雅史様に御出席いただいております。この委員名簿のとおりでございます。

本協議会設置要綱第6条3項により、会長は、委員が出席できない場合には、当該委員が指名する代理の者を会議に出席させることができるとございます。本日は板津委員が尾関様からの御指名ということで代理として御出席いただくものであり、この要綱に則って出席をいただきます。会長には事前に御承諾をいただいておりますので、皆様、御承知おきください。

板津様、どうぞよろしく願いいたします。

板津委員

板津です。よろしく願いいたします。

事務局

本日の会議ですが、お手元の次第に沿って進め、長くても2時間、昼の12時には終了させていただきたいと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

また、本日の会議は公開で開催いたします。会議室後方、傍聴人の方は、会議中、お静かにお願いいたします。

撮影は、会議の進行の支障を来さない限りで自席からの撮影を認めますが、最低限に努めるようお願いいたします。録音等は個人のメモとしての利用に限り認めますが、切り取って公開するなど、そういったことは一切やめていただくようお願いいたします。

会議の内容については、後日、資料と会議録をホームページで公開する予定となっておりますので、皆様、あらかじめ御了承ください。

ここで資料の確認をさせていただきます。

まず、事前配付させていただいた資料は本日皆様お持ちでしょうか。不足等ありましたら、またお教えてください。

まず、資料の確認をいたします。

(資料確認)

途中でまた過不足等ありましたら遠慮なくおっしゃっていただいて、対応させていただきますのでお申しつけください。

それでは、早速会議に入らせていただきます。

まず初めに、会長の岡田様より御挨拶いただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

岡田会長

皆様、おはようございます。

本当に寒い中、多くの方の方々に御参画いただきましてありがとうございます。名古屋経済大学では犬山市にある唯一の大学として、毎年自分たちが学んだことや体験したことを少しでも市に還元したいということで市長と語る会という場を設けていただき、そこでいろんな学生の学びなんかを報告させていただいているところでございます。今年度、1月11日に開催をさせていただき、そのときに犬山というと観光ということで学生がいろんな提案をしてくれました。

その中で、日頃、犬山城とか城下町だけじゃなくて違う観点からの提案もありました。一つは、まさにこの木曾川、内田地区の景観が素晴らしいのではないか。そこから、城下町を通らずに裏道を通して散策できるようなコースというようなことが提案されました。その中で、やっぱり木曾川のポテンシャル、木曾川沿いの景観ポテンシャルというのがすごい、住民と協力しながら植栽なんかもやったらどうかとか、それから地元の人も活用できる休憩スペースなんかも提案の中にあっただけです。

もう一つが、栗栖地区でもそういう話があって、一つは実際に栗栖の地区を歩き、その後、野外活動センターでバーベキューというか調理をしてということですが、栗栖の特性を生かして川魚とジビエ料理なんかをやったらどうか、それから四季折々の自然飯、いわゆるキノコだとか栗御飯なんかを提供できないだろうか。それから、今の若い子らしくて、木曾川を見ながらサウナに入れるといいね、という提案もございました。どの提案も法規制なんかを知らずに、財政的な面もなく稚拙な計画ではあるんですけども、若者の一つの気づきというものであり、生かしていけたらなと思っています。

ただ、今御紹介した2つの事例とも、観光客、観光という視点だけではなく、地元の方と一緒にやっというところが根本にあると思っています。今日の議論の中でも、観光をどうこうするわけでもなく、地元の方とどう木曾川河畔を盛り上げていくかというようなことで皆さんと議論ができたかと思っています。

ますので、よろしく申し上げます。

事務局

ありがとうございました。

それでは、御挨拶いただきましたので、ここから議論に入ってまいります。以下の進行は、協議会の要綱に従い、引き続き岡田会長、お願いいたします。

岡田会長

それでは、議事を進めていきたいと思えます。

資料がたくさんありますので、また皆さんに御協力いただきながら進めてまいりたいというふうに思えます。よろしく申し上げます。

それでは、早速ですけれども、次第にあります2. 議事にある報告1から3について一括して事務局より説明を受けたいと思えますので、よろしく申し上げます。

事務局

(資料説明)

岡田会長

資料の報告をいただき、ありがとうございました。

委員の皆さんから、もう一度ここを確認しておきたいこととか、追加でこの部分の説明を求めたいというようなことがありましたら挙手いただきたいと思えます。

丸山委員、お願いします。

丸山委員

資料6について、川崎地質株式会社の方へお伺いします。

素人で全く見当がつかないのですが、調査結果のまとめ、11ページの一番下、非破壊検査、直壁コンクリートの強度は29N/平方ミリメートル。これの強度は高いのか悪いのか教えてください。

川崎地質

強度としては、十分な強度が出ております。基準強度というのは11というのがあり、それに対して29ですから、十分な強度は出ていると思っております。

丸山委員

ありがとうございました。

岡田会長

よろしいでしょうか。

続いて阿部委員、お願いします。

阿部副会長

資料3についてですが、柿を収穫した場所というのはどの辺りかということをお聞きしたいのと、コメントですけれども、この取組は体験プラス出店と、

それをまた子どもたちもやっているというところまでつなげているというのはすごくいい事例だなと思ひまして、全国的にも参考になると思ひるので事例として紹介したいと思ひています。コメントですけど、最初のエリアの説明だけいただければなと思ひます。

事務局

ありがとうございます。

出店と収穫の場所について図面はありませんが、朝市の場所は地質調査の報告もあったタイル張りの遊歩道で出店しました。収穫した場所は、朝市の遊歩道から南のエリアというのが内田地区になり、遊歩道から歩いて2分ぐらいの個人宅です。

阿部副会長

ありがとうございます。

そうすると河原だけじゃなくて、民地側のほうの農地のようなところともつながっているのでしょうか。

事務局

ありがとうございます。個人の庭です。

御厚意で、みんなでやるならいいじゃないかということで御提供をいただきました。クリスマス会の場所は、さらに南に行った内田老人憩いの家という公共施設で行わせていただき、川のみではやっぱり広がりがないので、内田地区全体に広げていけるといいなと。ハロウィンパレードも、キッズクラブの方が内田の町内で取り組んでいるので、参画者もそうですがどんどん広がりを持たせたいと思っております。

岡田会長

第1回でも報告があったような、夜店から始まってずっと継続的な事業だと思ひますので、ぜひまた阿部委員からも全国的に発信いただけるといいなと思ひます。

それでは、議事の協議に移りたいと思ひます。

協議1について、事務局より御説明をお願いします。

事務局

(資料説明)

岡田会長

ありがとうございました。

事務局から説明がありましたかわまち計画について、第1回目にプラスされたということで新しい案が示されました。

この会自体は、ここで計画自体を決めるという会ではございませんが、皆さんそれぞれのお立場から御意見を言っただき、この計画がよりよいものに

なればなというふうに考えておりますので、1人1回は御発言いただけるように何かアドバイスなり御意見をいただくとありがたいと思っております。

どなたからでも結構ですので、御発言される方から挙手いただければありがたいです。

長瀬委員、よろしく申し上げます。

長瀬委員

先ほど桃太郎港の改修について、国とか何か書いてありましたけど、私が桃太郎発展会の長老に聞いたら、名鉄遊船が造ったらしいです。だから、改修するのにも今は名鉄遊船がないです。その辺をどうするか、市がどこか国だったりと考えなければいけないと思ひまして、一応発言させていただきました。

事務局

ありがとうございます。

名鉄遊船が造ったんですね、当時50年ぐらい前ですか。

安藤委員

プロペラ船ですかね。

事務局

内田地区についても、もともと造った部分は市じゃないのかという御助言なので、民間として今は名鉄遊船がないですし、木曽川観光さんが造るといっても何となく現実的ではないかもしれないので、整備方法はまだ決まってないですが改修となると、市が請け負うことになるかもしれないですね。またちょっと木曽上さんと御相談しながら対応を決めていきたいと思ひます。御意見ありがとうございました。

岡田会長

それも一応、計画期間が未定ですけど、調べていただければと思ひます。

事務局

確認した中で、この計画の中で最終的に落とし込んでいけるように進めてまいります。ありがとうございます。

岡田会長

長瀬委員、ありがとうございました。

ほかの委員から御意見ございますでしょうか。

梅村委員、よろしく申し上げます。

梅村委員

梅村でございます。

23ページで、まだ検討中でございますけど、生物の生息・生育・繁殖の場の保全・創出に関する取組が記載されております。ここ何年かの大増水で河床が

かなり大きく変化してきておりまして、今は鮎が住める状態じゃない、鮎がかなり減少してきているということを愛北漁業協同組合の組合長さんからも伺いしております。

それと、今まで例えば船の通路になっていたところが石で埋められてしまってだんだん浅くなってきているという大きな弊害が出てきておりまして、運航等にも影響がございます。そのような中で河床の変化に伴う鮎の生息に関するヒアリングなんかも、漁協さんと打合せされるといいんじゃないかと思ひまして御提案を申し上げたのが1点でございます。

もう一点は、ここに記載はないのですが、今、木曾川の中にある岩ですね。歴史がある岩がかなりございます。そういうものに触れていくことも必要じゃないかと思ひておりまして、提案をさせていただきたいと思ひております。それと先ほどの地質調査の関係でお伺いしようか迷ったのですが、今の法面はコンクリートで施工してありますが、この辺の強度というのはこの地質調査の中だけで判断できますでしょうか。今、増水がかなり多く発生しておりまして、その量が半端ではございません。そこがもし何かがあったら大変なことになると思ひますので、ちょっとお聞かせを願ひたいと思ひます。以上でございます。

岡田会長

3点の質問と御意見がございましたけれども、この23ページについては検討中ということで、今、細かい回答はできないかもしれませんが、方向性をお示しさせていただきたいと思ひます。

事務局

ありがとうございます。

今、会長にお話しいただいたとおり、23ページについてはまだちょっと検討中という状況です。生物の生息・生育・繁殖場の保全・創出に関する取組ということで、持続可能な河川空間というところの取組についてキーパーソンのお一つが漁協さんですね。愛北漁協さんが鮎の放流をされたり、特に今の組合長さん、河川環境の変化について非常に危機感を持っていらっしゃいます。梅村委員がおっしゃられた河床が非常に変わっていて、昔の状況と、玉石がないとか、いろいろ懸念されているところも御発言があるので、そういった方の御意見とか現状実施している取組も少し反映させていただきながら、このページについては記載する必要があると考えております。一度お話をさせていただいて、このかわまち計画の取組なんかも進んでいるというのは御承知いただいておりますが、そういったところも踏まえて記載する必要があるかなと思ひております。

河床が浅くなっているというのは、梅村委員、浚渫とか、そういうものをやっていく必要があるとか、そういうお話になるわけですか。

梅村委員

全てではないんですが、例えば船の出入口の辺りが昔に比べるとかなり狭くなって浅くなっているというところもありますので、そういうところの対応ができたかと考えております。

事務局

ありがとうございます。

かわまち計画の中にどのように書いていくかというのは検討させていただきながら、親水空間をつくっていく中での例えば護岸を造るというのと、あと維持管理的なものというところで通常業務の中での浚渫とか出てくると思いますので、そこはまた木曾上さんと木曾一さんと相談しながら、日常業務で浚渫、たしか木曾一さんにやっていただけたときもありますので、強く要望していきたいなと思っています。でも、そういった課題感を河川全体について書いていって、その中でこれは実際の施工につなげる、これは日常業務でお願いしていくというのは整理しながら、よりよい空間づくりを進めてまいります。

岩については、栗栖のほうでもチャートが2億5,000万年前のものが現れてきたりとか本当に不思議な空間をつくっていて、地質学の先生たちも調査に来たりしているというところもあって、この辺りというのは犬山の木曾川河川空間特有の特徴であり魅力だと思いますので、それによって何か整備が伴うかというのは別として、記載を強く書いて魅力があることを再認識できるようにしてまいります。

あと、地質調査で法面のコンクリートの強度というのは、この調査によって十分把握ができたかということですが、これは先ほど川崎地質、近藤氏からも話があったため補足をお願いします。

事務局

先ほどおっしゃっていたのは、法面の護岸コンクリート張りですね。その強度については、今回の調査の目的とはちょっと違っていたので強度を求めるといことはしていません。ただ、ボーリングのためにちょっと表層をくりぬいて感じているのは、かなり硬いしっかりしたコンクリート張りで、見た目は堀ることによる変状だとか、そういったものは見られなかったもので、かなりしっかりした状態であるということを確認しております。

岡田会長

よろしかったでしょうか、梅村委員。

昔は岩に名前がそれぞれついていたような覚えがあり、そういうのがまたよみがえってくるといいなど、今の質問を聞きながら思いました。

長瀬委員

日本ライン下りがあった頃は、そういう説明をされていたみたいです。日本

ライン下りが今は実施していませんが、何か岐阜県側から、日本ライン下りを復活させる動きがあるとちょっと聞いたのですけど。

事務局

今、回答と御質問が同時に出ましたので、知っている情報を共有しますと、そのような取り組みが岐阜側からあり出ていまして、何かというと、今、私たち犬山市も加盟している木曾川中流域観光振興協議会があります。岐阜県さんが音頭を取っていて、各務原、坂祝、美濃加茂、可児と犬山という5市町で構成しています。その中で知事が替わりましたが、前知事のいらっしゃるときの会議で川下りを復活させたらどうだというのが御意見として出て、じゃあこの中流域の活動のメインテーマの一つとして川下りを研究しようというような話が出ました。それが岐阜新聞に掲載されて日本ライン下り復活というと、ちょっとオーバーランしていると思ったんですが、川下りを何らかの形で復活できるように研究しようと。

ただ、先ほど梅村委員がおっしゃったとおり、川の状況がかなり変わっていて川底が浅いとか、線形も変わっているとか、昔のように木造の船を岐阜のほうから犬山まで流してというのが物理的にできないというのは、船頭さんが現地確認し、そういう認識なんです。だから、昔の船がそのままじゃなくゴムボートのだけだと見た目は木造船というような新しい形の船を研究するかとか、アイデアレベルですけどそういった意見が出ているという話が出つつあります。

そのようなことが具体的にできれば非常に喜ばしいので、一緒になってやれたらなとは思っておりますが、まだ話題が先行気味な気がしています。

長瀬委員

お客さんに聞かれて知ったんですが、前向きだという話ですね。

岡田会長

ありがとうございました。

現状そんなようなことらしいです。

続いて、丸山委員お願いします。

丸山委員

全体的な話をしますので、何ページというのは限定しませんが、1月の中旬に栗栖神社でどんと焼きをやりました。その折、恵那から来た女性が可児川駅から鳩吹山経由でずっと来て桃山から下りてきたようで、神社でお参りしていたんですね。声をかけて焼いた餅を勧めました。彼女は物すごく山地図を持っていて、スマホでどういうコースで行くかということは分かっていました。

それから10分ぐらいしたら、今度、男の子が桃太郎のほうから歩いてきて神社へ来ました。また一番上の本殿まで行ってお参りして下りてきたので、餅を勧めました。何とたった1人で大阪から来ていました。恐らく桃太郎神社へ来

たんです。もう少し歩いて栗栖神社で私たちと出会った。ほとんどのことを知らなかったの、ここに寂光院というお寺があるよと。犬山遊園から電車で降りて歩いてきたみたいです。

思いましたことは、もう一度案内板の再確認をして、こう行くとここにこういうものがあるよと犬山駅前とか、犬山遊園とか、いろんな場所にどう案内板が出ているのか、そういうのをもう一度見直して、こういう魅力があるところがあるというのを遠方から来た人に分かるようにするといいと思いました。

2つ目、これは18ページのコンセプトを見て、この意気込みがすばらしいので、これを強調するような小冊子ができるといいと思いました。

3つ目、野外活動センターエリアが取り入れられました。ここも大水が出ると駐車場並びに炊事場が水没します。ですから、堤防を造れとか、そういうやぼなことは言いません、景観がおかしくなるので。ただし、そういうときにもし宿泊客が来た場合に速やかに避難させる体制を、内田地区に書かれているようなことはぜひここにも書いていただいて、生命の安全を図られるようにしていただきたいと思いました。

それから、竹林エリアの整備について、日頃名経大の学生が五、六人来て大変若い力で助けてもらっております。また今後とも声をかけていただいて若者たちの力が借りられるとありがたいな思います。

ちなみに、栗栖小学校の運動会は名城大学の学生が5人ほど来ておりまして、これも会場は大変助かりました。そういう学生の力というのもいろんな場面でお借りしていきたいなと思えます。

それから、これは発展会の会長さんに聞いたほうがいいですが、6ページに栗栖園地の写真があります。地図にも載っていますが、地元ではじゃぶじゃぶ池と呼んでいますよね、みんなじゃぶじゃぶして遊べるから。現在は水源がないので、じゃぶじゃぶ池はないですね。

長瀬委員

じゃぶじゃぶ池の水源は川から取っています。

丸山委員

川から来ていて、水が今絶たれている。

長瀬委員

冬場は閉めてあるんです。

丸山委員

閉めてあるだけ。

長瀬委員

はい。

丸山委員

じゃあ、この写真は不適切ではない。

長瀬委員

問題ないです。

丸山委員

いいですね。

最後に、梅村さんがおっしゃいました石がなくなっているということ。当然ダムによって上流からの補給がないので、これは愛北漁業の代表者さんがいつも嘆いてみえて、犬山近辺では鮎がおらんと言ってみえていて、実現可能かどうか分かりませんが、矢作川下流の蜆が減っているので上流から石を運んで海岸に石を補給していますよね。それと同じようなことが、この犬山の周辺で石を補給するということができるのであれば、少しでも鮎が生息できる状況になるのじゃないかなと。

いろいろ大きなことで言い過ぎましたが、思っていることを話させていただきました。

岡田会長

ありがとうございました。

今の丸山委員の御意見を反映したような計画、どこまで反映できるか分かりませんが、参考にして次へのステップということによろしいですか。

事務局

案内板なんかは既に記載しているところもありますが、内田地区から栗栖地区への連動という意味では、案内表示というのは連動させて一体となって整備していく必要がありますので、検討していきます。

申請書ですので、ある程度フォーマットが決まっているんですけど、コンセプトについては概要版とかいろんな部分でしっかりと強調したり、今いただいた意見をまた反映させながら進めてまいります。ありがとうございました。

岡田会長

ありがとうございました。

他の委員さん、御発言をお願いしたいと思います。

続いて松田委員、よろしくお願いします。

松田委員

観光協会の松田です。まず、先回の会議の中で市民と市民参加というような視点、こういった重要性も見ていただいた中で、20ページのほうに新たな新しく取組の推進体制等を協議されたということですね。全体に市民参加ということ、犬山市というのは市民活動団体も多々ある、そしてまたNPOですね、30以上もあるかと思います。そういった辺りは非常に活発だということ、犬

山市のポテンシャルというのは市民活動であるというふうに考えます。今回の計画書の特に24ページにも、かわまちのにぎわいを創出するというので、新たなソフト事業の展開というところにも多様な主体との連携をさせていただきます。ただ、ぱっと見ちょっと弱いかなという思いもあります。

要するに犬山市の強みである、こういった多様な主体というのは、市民活動でありNPO、これは多々あると。例えば川祭保存会の方々が巻わら舟を復活させようと木曽林の跡地のところで組み立てたりとか、また犬山をきれいにする会というところで、毎月、朝6時から城下町とともに、今、河川敷もきれいにされています。こういった活動をする方がたくさん見えるので、そういった可能性を踏まえながら、新たな時代と連携するということのそういった内容を、この中にも何とか書けるといいです。あとは19ページには定量的な目標ということで記載があるんですが、そこにはソフト事業であったり、そういったところに数というところがあるんですが、今後評価されるかと思いますが、こうした参加者、主体、市民活動団体、そうした方々の参加する数も一つは指標になるとともに、また市民が今後、この地域の方のみならず、市民が利益を被るようなことも当然理想ですので、そういった観点では市民への認知度というものも一つはありと考えます。

もう一点、他計画との整合性、調和というのも説明をいただきましたが、古くは栗栖のミラマチさんとか河川空間の活用というものが、記憶する中では犬山市総合戦略、今は改訂していると思います。その中には河川空間の活用という非常に大きな目標が掲げてあって、それを基に国の推進交付金を活用しながら、このプロジェクトの初めの一歩が始まったんじゃないかと理解をしています。そういった観点で、今般、総合戦略も改訂されるんじゃないかと思うので、そこに河川空間の記述があれば初めの一歩ですよ。そういったところの調和、連携というのもありと思います。

もう一つ、対岸の各務原市さんのことも、27ページに犬山と各務原の広域観光推進協議会についても御記載されているんですが、各務原市は木曽川を核としたまちづくり、まちづくり盟約というのが協定として結んでいるかと思えます。そこにはまさしく木曽川を核として、そして歴史を踏まえながら都市づくりをしていくというような強い言葉が書かれていると思います。そこも強みとしてどこかには表現されるといいと思います。

全般に推進体制のそのもの、協議会の在り方というのでも整理されているので、多々また整理することがあると思いますが、ぜひともよろしく願いしたいと思います。

岡田会長

ありがとうございました。

犬山の強みを生かした記載をということだと思しますので、また御検討いただければと思います。

事務局

市民団体が強みということはおっしゃるとおりですので、その辺り強化して表現させていただきます。

各務原との連携を今いろいろやっていますが、その辺りを書かせていただきます。

総合戦略については上位計画なので、ここに総合戦略の記載はできませんが、総合戦略のほうにも当然計画の連動性というのは必要なので、そちらに逆フィードバックできるように努めてまいります。ありがとうございます。

岡田会長

ありがとうございました。

続いて阿部委員、よろしくお願いします。

阿部副会長

今、松田委員から体制の話があり、私も同じようなことを考えておりますので発言させていただきます。

20ページの体制づくりで御意見いただいたとおり、今はカタリーヴァとか非常に市民活動をやられているので、そういった姿があまり見えなくて、多様な関係主体に代表されていると思うんですけど、その辺がうまく見えてくるといいと思った次第です。

あと、この体制図については、完成形はこれでもいいと思うんですけども、2地区あるんだけど、それが本当に同じなのかということが。こういう図でもそういった包含しているのか、将来形なのかみたいなのところですね。将来形としてこれが絵として、今やっている活動とか、これがいつの時点なのかということもあるので、将来なのか、この5年間でやっていくのか、そこの説得力がまた出てくるといいかなと思った次第です。

あとは19ページの指標のところにもさっき御意見が出たんですけど、これもいいと思います。例えば住みやすさの満足度とか、観光客の満足度とかというのは、これらが実は本当にかわまちでよくなったのかというところが、これがよくなることはすごくいいことだと思うのですが、後で見たときに、これはかわまちの影響なの、ほかの施策の影響じゃないのみたいな、そういうのもあるので、もし観光施策とかかわまちがすごく密接だとか、あとほかのところでは観光者がほとんどかわまちの施設を利用してというところがあると、また説得力が増すかなと思い、他事例でいうと、利用者数とかイベント来場者数とかみたいなものが結構多いというのがほかの事例から見えることだと思います。あと、少ないですけど、信濃川みたいなところだと売上げとか、経済波及効果み

たいなところも入れてやっているのは参考にさせていただければいいかなと思いました。

あと全体的には、指標をもうちょっと強調いただいたらすごく、うちの団体としても指標に取り組んでいるところもあるのでいいと思ったんですが、つい先日、富山県の砺波市にダム湖の上流で観光遊覧をやっていて、そこは全然ほかのところに観光客がいないんですけど、そこだけなぜか外国人が非常にバスで乗りつけて来ています。なので、インバウンドの方にとっても船の風景というのはすごく地域の人にも外の人にも魅力なんじゃないかなと思いました。

事務局

阿部副会長、ありがとうございました。

スキーム図については、まだいろいろ検討していかなければいけないなと思いましたが、今お聞きして、栗栖と内田は同じ図でいいのかというのは、確かにそうだなと思いましたので整理させてください。

これはいつの時点のものだというのは確かにそのとおりで、整備後の運用していく形かなというふうに思っておりましたが、その中で今関わっている内田のカタリーヴァさんとかミラマチさん、そういったところが見えてこないというのは、必ず彼らは関わってくるので、そういったところを補強するという、そんなイメージでよろしかったですか。

阿部副会長

そうですね。あとは、特に内田ですけど、民間事業者というのはどのぐらいのタイミングでそこに移行するのかなんかもあまり見えてないのかなと思う。

事務局

ロードマップ的な感じですか。

阿部副会長

そういうのがあればいいのかもしれないですけど。

事務局

今、事務局の中でイメージしているのは、例えば5年後に整備が完了するのであれば5年後から担い手を探しても遅いので、その手前の3年前とかからプロポーザルなり、公募の方法は分かりませんが、市が指名するということはあり得ないので、公募して、そこで業者選定して決まっていくという。その中で、当然ながら民間事業者側が何でも全てやりたいようにやるというわけにはいかななくて、例えば既存事業者として朝市さんもいらっしゃいますので、朝市さんとのつながりですね。朝市さん、これからも長く活躍していただきたいし、夜市も広がっていったいただきたい。だから、その既存の他団体とのつながりだったり、内田地区の子供たちが活躍できる仕組みとかというのは恐らく条件とかになってくるのかなと思いますけど、その辺のロードマップ感というの

を、今、あまり書き過ぎてもいけません。

阿部副会長

それを示してほしいということでもないですが、ちょっと御意見させていただいて、参考として次に組み立てていただければなと思っております。

事務局

ありがとうございます。

指標については、今すごく重要なお話いただきましたので、少し参考にさせていただいて、他の事例も勉強させていただきます。ありがとうございました。

岡田会長

ありがとうございました。

今日、オブザーバーですかね、板津さん、御意見いただけますか。

ごめんなさい、オブザーバーじゃなくて。

板津委員

名古屋鉄道の板津と申します。

私は犬山市民でございまして、今日この場に尾関の代理で出席させていただいたんですけど、犬山に非常に興味を持っているというか非常に強い、この川沿いにも住んでおりますので非常に興味を持っているところをお伝えさせていただきたいと思えます。

名古屋鉄道としましても、この犬山遊園、犬山駅というこのラインを、今、城下町に集中している部分を広く面的に広げていきたいというような思いを持っておりまして、その中でもこの内田地区のエリアに関しては非常に重要な場所であると。14ページに将来構想図として回遊イメージというような形で、犬山駅からメインストリートを通って城下町、郷瀬川沿いを通って犬山遊園駅まで行くルートが示されていますけれども、つくったからといって、すぐ回遊してくれるかというところもそうでもなく、犬山城を見られて、その後、郷瀬川に下りてくるぐらいの魅力が果たしてどう伝えられているのかが非常に重要だと思っております、城下町へ戻ったほうが楽しいんじゃないかと思われないう、回遊できるエリアのところはどう下りていってもらえるか、これは非常に重要なところだと思っておりますし、また犬山遊園駅、先ほど丸山委員からもありましたが、犬山遊園駅に降りたときに、この内田地区のエリアがどのように見えるかというところ、なかなか視認性はそんなによくないものですから、この先に行くとなるとどんな楽しい状況が待っているかという期待感をどう醸成していくかというところも非常に重要かと思えます。

また、修景の話になりますが、犬山城を見られる方がライン大橋から鶴沼のほうに渡って犬山城を見られる方もたまに見かけるんですけども、そういった方がじゃあこの内田地区のほうに行くとすると、迎帆楼を通って、くぐりに

くい城下トンネルを通らなきゃいけないというところもあるので、その辺からどのように人がこのエリアに集ってくるのかというところはいろんな面で考えていかないといけないと思いますし、サインもそうですけれど、ルート形成といった面でも、名古屋鉄道としてPRしていく上でも今後検討していかなくちゃいけないので、単純にルートをつくる、魅力的なルートをつくるというところのもう少し深掘りはしていく必要があるなど考えております。

あとこれは、すみません、犬山市民としての意見になってしまいますが、栗栖地区のほうにもよく行かせてはいただくんですが、私も子育て世代として、子供を自然に放り出すような場所が犬山にはあまりないというような、自然はあるんだけど、子供を遊ばせていくような空間がないという中で、栗栖園地は非常に魅力的な場所だと思っていますので、アンケートのほうにも子供が遊べる遊び場とか水遊びができる場所というところがあるので、そういった空間をつくる場所としてのアピールも今後あってもいいというような考えを持っておりますので、御参考にしていただければと思います。以上です。

事務局

ありがとうございます。

回遊性は非常に重要で、14ページ、ありがとうございます。これは犬山の観光戦略に記載している回遊イメージなので、ぜひこれを実現させていきたいと思っております。

犬山城のたもとに港がありまして、遊園のところにも乗船場がありますが、もしかすると今整備している内田地区も立ち寄れるような中継地になると、舟運で遊びに行って、降りて、遊んで、また船に乗ってみたいのはちょっと魅力づくりに資するかなと思っていますんで頑張ります。栗栖園地もありがとうございます。

岡田会長

ありがとうございました。

時間が迫っておりますけど、委員さん、一言ずつはいただきたいというふうに考えております。最後にオブザーバーの井川さんにも御意見をいただきたいと思っております。

奥村委員

会議所は、この地域を何とかして活性化、にぎわいを創出したいという考えをずっと持っています。私の単独でいろんなものを企画しながら今計画を進めようとしていますが、この今の計画の中で一つ質問がありまして、飲食店、固定的なものじゃないんですけども、チャレンジ的なものじゃなくて、契約なのか、これからそういうのも今後検討されるんですけど、飲食店をやっ
ていこうと。この飲食店は昼型ですか、夜もですかね、そういうのが1個あり

まして。なぜかという、夜は飲食店はどうしてもお酒を狙っていますんで、川沿いへ、下へ下りてくる可能性は非常に高く。対岸もこれから整備されま
すけれども、花火ではいつも警備で下に転落しないように見ている部分もあり
ますけれども、そこはそういった例えば何か光というか、そういったものが少
しあるとか、危険な川に落ちないような、何かそういったものも要るのかなと
思いました。特に夜に飲食店でお酒を出すと、そういったことが増えるから危
ないということを言わせていただきます。

それから、4店舗か2店舗か分かりませんが、飲食店を出してもらうことは
非常にありがたくて、少しでも城下町の方を分散していくというのは非常にい
いかなど。ただ、この通りには昔から今も新しくできた店舗がありますし、宿
泊のところも結構あります。そここの行き来が非常に危なく見えています。例え
ばインディゴさんのところから、この通りを前に出て堤防のほうに行くとい
うときに歩道がありませんので、かなり危なく思っていますし、そういった歩道
が増えるものかどうか分かりませんが、そういった行き来ができればなとい
うものが欲しいなど。

それから、今は車道に店がありますから、かなり減っていますんでね。そこ
に昔はずらっと店舗が並んで、そこはにぎわいを、すごい人が歩いていました。
今の城下町のような人が歩いていましたので、そこにも少しずつ店舗ができる
ような、歩道のようなものは無理かもしれませんが、明確に歩けるというか、
何か歩道的な、グリーン帯でもいいんですけども、そういったものの整備が。
この34ページのところには、あまり車道のところが、黒く塗ってあるだけなん
で、何か欲しいなという、行き来ができるような。この4店舗できた暁には、
車道のところにも店舗がだんだんとできてくると、当然人も歩いてくるなとい
うふうに思っています。

それから、あと栗栖地区については、会議所のほうも県に対して、県道栗栖
線に対して毎年要望をさせてもらいます。県知事に対して、これは直接やって
いますし、市と連携しながらやっています。あと、中部地方整備局に対しても、
今月この道路についても整備するようお願いしたい。県にもそういった要
請をしてくださいといった要望を会議所のほうからもさせていただきます。以
上でございます。

事務局

ありがとうございました。

昼だけでなく夜もにぎわいづくりというのは重要だと思っています。その上
での安全性というのは、今お話いただいたような明かりとかね。今すごく暗
いですから、河畔のほうも含めて明かりが届くような形を検討してまいりま
す。

民地側との行き来は分かりづらいんですけど、33ページのほうですと6番の歩道再整備ということで、2.4メートルぐらいの歩道幅がつかれるんじゃないかと考えております。まだ図面を引いているわけでもないですけど、そちらからも歩いて横断できるような仕組みにして行き来ができるようなというのは考えております。

民地側の開発というのは、もちろん我々ができることは精いっぱい全力で誘導していければと思っています。

栗栖の県道の要望については、ありがとうございます。

岡田会長

ありがとうございました。

続いて日比野委員、よろしくお願いします。

日比野委員

朝市組合の日比野です。

私ども内田地区で木曾川の遊歩道で朝市を出しております。私ども今の一番重要な問題というのかな、駐車場問題が一番大変でございまして、どうしても駐禁ですので道路に止められませんから、かなり苦慮しておりました。それで、天の声が下りまして、たまたま民地の旧犬山館、あそこの民地で結構480坪あるので、オーナーさんが替わりまして新しいオーナーさんとお話をさせてもらって、ぜひしばらくは使ってくれという話で駐車場として借りられることになりました。なので、新しいゆっくりとスローライフができるような朝市を。車を停められると色々な意味での活性化もできますし、そういう意味では民間の事業者さんとも上手に交流しながら、しばらくは駐車場ですけれども、何かの営業店舗になる可能性もありますので、そこでまた色々な意味での僕らも協力をさせていただきたいなというふうに思っております。

あと1点は、朝市として企画というのかな、たまたま御縁がありまして、輪島朝市。ちょうど震災があつて、結構、復興状況では少し移動店舗で出張朝市をしてみえます。たまたま今回、5月18日の日に先方から犬山にお見えになって、輪島朝市と犬山朝市のコラボレーションとして木曾川遊歩道で朝市をすることに決まりました。先方さんが苦勞してみえますので、何かの形でPRしながらやるようにしていきますので、ぜひまた5月18日の日曜日は朝市に来ていただいて、それが終わった後には内田防災公園でKARAKURI事業部さんという方が中心になってKARAKURIフェスをされます。ですので、その一日を一生懸命PRしていきますので、よろしくお願いしますと思います。以上です。

岡田会長

ありがとうございました。

この空間からにぎわいが創出できるといいなというふうに思います。ありが

とうございます。

じゃあ安藤委員、よろしくをお願いします。

安藤委員

一つお聞きしたいのは、地質調査の点で漏水に関しては何もされてないんですか。

川崎地質

漏水なんですけど、階段工のところからあったと思うんですけども、今回は盛土荷重に対する調査でございますので、現地を見たんですけども、一応今、湧水期ということもあるんで漏水はありませんでした。

事務局

ツインブリッジ付近の漏水のことを前回は御指摘いただきまして、今回については、川崎地質さんからお話があったとおり、盛土ができるかどうかというところの調査なので調査対象じゃないんです。ただ、あそこは課題として十分認識していただいて、木曾上さんでも御対応いただくようお願いをしながら、かわまちづくりのエリアの中での大きな課題なんですけど、別のところで対応していくけるよう進めております。

安藤委員

あとは栗栖までの歩道ですよ。人が動けるのが一番だと思います。

事務局

ありがとうございます。

栗栖までの県道については前回は御指摘いただいたとおりで、今、都市整備部とも連動しながら県に機を見て要望を続けていますので、言い続けることが大事かなと思っていますので、よろしく願いいたします。

岡田会長

ありがとうございました。委員の皆さん、ありがとうございました。

今は多分、木曾川上流河川事務所の方でもサイクリングに結構力を入れてみえると思うんですね。ただ、内田から栗栖地区を結ぶ道路というのは、今まで皆さんから御意見が出ているように、なかなかサイクリングには適さないというか、ちょっと危険な状態だと思います。先ほど事務局のほうから話があった船でというお話ですよ。何かこれはとてもいいという気がしています。

実は対岸の坂祝さんも、犬山橋から坂祝まで、ロマンチック街道はいいサイクリングロードになっているんですけど、その間は道がなく、これはまだ未確定なんですけれども、サイクリングトレイン。鶯沼駅から坂祝駅までを自転車道を運べるような電車を増発できんかというようなことを考えてみえる団体があるそうなんです、それに先立って犬山で坂祝までちょっと行ってというぐらいの船が出せると面白いなという気がしています。

あと、日本一美しい河畔へということで宣言をされたわけですが、そうするとどうしてもこの水景・城景・緑景という中の対岸がどうしても気になってしまうところです。先ほど松田委員からもちょうと対岸とのお話があったんですけど、木曽川景観協議会という、これは本当に全国でも珍しい県をまたいでの協議会もあるので、対岸にもアピールをしながら何か一緒にやっていけるといいなと思っています、各務原市さん、坂祝町さんとですね。そういうのも情報交換しながら、こういう計画づくりをされていくといいと思います。

それでは、お待たせしました。井川さん、オブザーバーとしてお願いします。

井川オブザーバー

木曽川上流の井川です。

今のお話ですけど、自転車ですね。最近、木曽川についてもかなり機運が高まっている状態で、一宮市と羽島市の間に西中野渡船場という県道がございます。あちらのほう、土・日も自転車を積んで川を渡るという結構お客様も見えるような、新愛岐の橋ができたらなくなるような話もありますけど、そういった今のこの舟運と自転車をコラボというか、その辺も絡めてやると今の話はいいのかなと私も思いました。

犬山市さんとは打合せを頻繁にやっていますが、6月の申請に向けて取組をさせていただいていまして、徐々に中身の精査をして、具体性だとか、透明性だとか、そういったことを明確にしながら、審査を本省がスムーズにいくように助言等をさせていただいておりますので、また引き続きさせていただきたいと思っています。よろしくをお願いします。

岡田会長

ありがとうございました。

皆さんから本当にたくさんの意見をいただいたということは、この計画に対する皆さんの期待も大きいということだと思っています。今日いただいた意見でまた集約いただいて、第3回のときには今いただいたことが反映できたようなまた計画書案をお示しいただきたいということを願ひまして、私の進行をこれで、事務局のほうへ返させていただきます。ありがとうございました。

事務局

岡田会長、ありがとうございました。

皆様におかれましても、本日、この計画づくりのために貴重な御意見、御助言いただき、誠にありがとうございます。

大変恐縮ではございますが、残り1回残っております。3月27日木曜日、年度末の本当にぎりぎりですが、時間は同じ午前10時からこの同じ場所、205会議室で開催いたします。この3回の議論でいただいた御意見をしっかりと受け

止めて、日本一美しい河畔をつくり出すことができるよう尽力してまいります。

計画は完成して終わりではありませんので、まさにこれは整備も伴い、その後の利活用もありますので、引き続き皆様からの御助言、御支援を賜りたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、これもちまして第2回犬山市かわまちづくり推進協議会を閉じさせていただきます。本日はありがとうございました。